



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2025

12

December

バリアフリー公演

ミュージカルシアターラーニング ～大切なことは目には見えない



去年のバリアフリー公演の様子



【キャスト】



森 彩香



安中 淳也



岡崎 かのん

ほか6名

兼崎 ひろみ
酒井 紫音
姫本 梨央
藤原 しおり
毎原 遥
林 芳弥



小林 啓也



渡辺 修也

目が見えない人や、耳が聞こえない人も一緒に舞台を楽しめるよう、様々な鑑賞サポートを取り入れた「バリアフリー公演」を開催します！

出演は、1987（昭和62）年の創設以来オリジナルミュージカルを創作し続ける「音楽座ミュージカル」。



▲詳細はこちら

〈同時開催〉デフリンピック関連企画

- (1) デフアスリートとの交流会
【会場】セキショウ中劇場 【時間】13:00
※対象はバリアフリー公演にお申込みの方
- (2) 手話指文字スタンプで名前カードづくり体験
【会場】セキショウ中劇場前 【時間】11:00～12:30
※どなたでも無料で体験いただけます。
- (3) 東京2025デフリンピック写真展
【会場】セキショウ中劇場前
【時間】10:00～16:00 【料金】無料
※どなたでも無料でご覧いただけます。

【日時】12月19日（金）12時30分開場 13時開演

【会場】いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
セキショウ中劇場

【料金】一般・大学生 1,000 円
with チケット（障害者手帳をお持ちの方 1 名につき介助者 1 名）500 円
高校生以下無料

※事前申込の上、公演当日の午前 11 時から会場にてお支払いください。

【主催】公益財団法人福島県文化振興財団

【問合せ】とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）
管理事務所
〒960-8115 福島市山下町 1-25
TEL (024)534-9191 FAX (024)536-1926
mail culture@fcp.or.jp

お申込み方法

(1) スマホで



お手持ちの携帯電話で
二次元コードを読み取り
お申込みください。

(2) お電話で

連絡先：(024)534-9191

次の4点をお知らせください。

- ①代表者氏名
- ②電話番号
- ③参加人数
- ④障がいの有無

いずれも 12 月 10 日（水）申込締切

○ Event Schedule

イベントスケジュール 12月

※本誌に掲載した情報は、すべて11月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音 楽

12/6(土)
小林愛実ピアノリサイタル
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 15:00 〡《全席指定》4,000円
曲 シューマン「クライスレリアーナ Op.16」ほか
問 音楽堂(024)531-6221
※2021(令和3)年の第18回ショパン国際ピアノコンクールで第4位に入賞したピアニスト。未就学児入場不可。

12/7(日)
デビュー50周年記念 新沼謙治コンサート
～限りなき前進～
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス 時 15:00
〡《全席指定》A席5,500円
※S席は完売、車いす席は要問合せ
曲 嫁にこないか、おもいで岬、津軽恋女ほか
問 MIN-ON仙台(022)355-4772
※未就学児入場不可。

12/7(日)
渡辺真知子コンサート2025
所 二本松市民会館 時 17:00
〡《全席指定》(前売)3,500円 (当日)4,000円
問 二本松市教育委員会文化課(0243)55-5154
※未就学児入場不可。

12/10(水)
グローリー・ゴスペル・シンガーズ
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 18:30 〡《全席指定》(前売)8,000円
(当日)8,000円、大学生以下2,000円
※当日会場で、開演1時間前から「当日学生券」を若干枚数販売(要学生証提示)。
曲 オー・ハッピー・デイ、ウィ・シャル・オーバーカム
アメイジング・グレイスほか
問 MIN-ON仙台(022)355-4772
※ゴスペルの本場ニューヨークで活躍するグループが、ゴスペルの名曲の数々を披露する。未就学児入場不可。12月14日(日)午後3時からは、福島市・パルセいいざか(福島市飯坂温泉観光会館)で開催する。

12/11(木)
古関メロディーを歌おう!～古関裕而の歌謡曲～
所 福島市古関裕而記念館 時 10:30
〡入館料として高校生以上300円、小・中学生100円
出 相原節子(ハモンドオルガン) 問 記念館(024)531-3012
※定員当日先着50名。古関裕而の楽曲を来場者全員で歌う。当日は、「古関裕而作品歌詞集」の貸し出しもある。

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
障がい者割引 障がい者無料 手帳など証明書類を要持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 出 出演予定者
時 開演・開始時間 曲 演奏予定曲
休 休館日 講 講師予定者
料 料金 題 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み) 問 お問い合わせ

12/13(土)
いわきジャズオーケストラ
2025クリスマスコンサート
所 いわき市・まちぽしいわき 時 14:00
〡高校生以上1,000円、中学生以下無料
問 パナフィックライフ・サトウ(0246)25-4660
バー・クィーン(0246)21-4128
※いわき市を拠点に活動する市民ジャズオーケストラ。

12/13(土)
青木カレン クリスマスJAZZライブ
所 白河市・白河文化交流館コミネス 時 14:00
〡《全席指定》一般3,000円、U-29(29歳以下)2,000円
※車いす席は要問合せ
出 青木カレン(歌)、石川周之介(サクソ、フルート)
畑野圭慧(ピアノ)、楠井五月(ベース)
曲 Jingle Bell、Smile、Never Again(ドラマ「昼顔～平日午後3時の恋人たち～」のメインテーマ)ほか
問 コミネス(0248)23-5300
※「コンフィデンスマンJP」「昼顔～平日午後3時の恋人たち～」
「ジョジョの奇妙な冒険」など、数々のドラマや映画の話題作で劇中歌を歌唱するジャズシンガー。未就学児入場不可。

12/13(土)
音屋ホール Presents
CHILDHOOD Christmas Concert
所 相馬市・音屋ホール 時 18:00
〡(前売)一般3,500円、大学生以下2,000円
(当日)一般4,000円、大学生以下2,000円
※ドリンク代込み
問 音屋ホール(0244)32-1717
※ハンドフルート奏者・森光弘とピアニスト・白田圭介のデュオ。詳細はp8インタビューコーナー参照。



12/14(日) 障がい者割引
ドラゴンクエストコンサート
すぎやまこういち 交響組曲「ドラゴンクエストⅧ」空と海と大地と呪われし姫君
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 15:00
〡《全席指定》一般5,000円、U25(25歳以下)2,500円
出 和田一樹(指揮)、山形交響楽団(管弦楽)
曲 すぎやまこういち「交響組曲『ドラゴンクエストⅧ』空と海と大地と呪われし姫君」
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
※国民的RPG「ドラゴンクエストⅧ」から名曲の数々を演奏。未就学児入場不可。「令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」により、小学生以上18歳以下の無料招待枠がある。けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)窓口で要申込。

12/21(日)
古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・ストリング・オーケストラ」
パイプオルガン クリスマスコンサート
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00
〡《全席指定》(前売)一般2,000円、学生1,000円
出 小野なおみ(パイプオルガン)、今尾滋(テノール)
阿部絵美子(ソプラノ・旧飯野町出身)
古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・ストリング・オーケストラ」(弦楽)
曲 ヴィヴァルディ「弦楽のための協奏曲ト短調 RV.156」
1.バーリン(近藤岳編曲)「ホワイト・クリスマス」
バッハ「グノー『アヴェ・マリア』」ほか
問 音楽堂(024)531-6221
※クリスマス定番の楽曲を楽しめるコンサート。未就学児入場不可。

12/27(土)
世界最高峰の舞台から
第19回ショパン国際ピアノ・コンクール出場
～福島民友新聞 創刊130周年記念事業～
山崎亮汰ソロリサイタル
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00
〡(前売)一般・大学生3,800円、小・中学・高校生2,000円
(当日)一般・大学生4,000円、小・中学・高校生2,000円
曲 ショパン「ピアノ・ソナタ第3番 口短調 Op.58」
リスト「ノルマの回想 S.394」ほか
問 郡山チャンネル国際音楽祭事務局(024)911-9115
※郡山市出身の若手ピアニスト。2014(平成26)年にピティナピアノコンペティションで史上最年少タイの15歳で特級グランプリ、聴衆賞・文部科学大臣賞を受賞。以後、著名なオーケストラとの共演など、国内外で活躍を続けている。未就学児入場不可。

12/28(日)
会津ウインドオーケストラ
年末コンサート2025
所 会津若松市・會津風雅堂 時 13:30
〡一般・大学生900円、高校生以下無料
曲 インヴィクタ序曲、僕らまた ほか
問 事務局(090)4634-8270
※学校部活動の地域展開に対応しようと活動している吹奏楽

12/6(土)・7(日)
TOIカンパニー旗揚げ公演「月の岬」
いわきの演劇文化を盛り上げる企画・制作集団が始動

所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 6日13:30・18:30、7日13:30
〡(前売)一般2,500円、18歳以下1,000円 (当日)一般2,800円、18歳以下1,000円
問 TOIカンパニー(090)6852-2458
※昨年解散した企画・制作集団「ITPいわき演劇プロジェクト」の意思を継ぐ団体。いわき市内のアマチュア劇団の枠を超えて俳優やスタッフが集まり、本格的な舞台を多くの人に届けることを目的として活動。旗揚げとなる本公演は、1998(平成10)年読売演劇大賞最優秀作品賞を受賞した戯曲「月の岬」(作・松田正隆)を上演。演出は、いわき市出身で元劇団青年座の高木達。未就学児入場不可。

団。3部構成で、第一部は会津地区内の小学生との共演、第二部は単独ステージ、第三部は指揮者・時任康文氏を迎えての演奏。

舞 台

12/7(日)
こおりやま洋舞の祭典2025
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 13:00 〡 500円
出 フラ・ホニ・ケ・アロハ(辻フラスクール)
横山慶子舞踊学園、ダンススクエア・ドウ
竹内ひとみバレエスクール
問 郡山市立中央公民館(024)934-1212
※郡山市の4つの舞踊団体のフラダンス、クラシックバレエなどのステージ。

12/19(金)
バリアフリー公演
ミュージカルシアターラーニング
～大切なことは目には見えない
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 13:00
〡一般・大学生1,000円
withチケット(障害者手帳をお持ちの方1名につき介助者1名)500円
高校生以下無料
出 音楽座ミュージカル
問 とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所(024)534-9191
※要申込。目が見えない人や、耳が聞こえない人も一緒に舞台を楽しめるよう、様々な鑑賞サポートを取り入れた公演。詳細は表紙参照。



12/20(土)
玉屋柳勢 am 落語会・福島市
所 福島市・文化堂ビル
時 10:40
〡(予約)一般1,800円、大学生以下1,200円
(当日)一般2,000円、大学生以下1,200円
出 玉屋柳勢(真打、須賀川市在住)
問 玉屋事務局(070)9116-4620
※古典落語を手軽に楽しめる公演。未就学児入場不可。



自主上映

12/13(土)

アサカ理研郡山中央図書館 映画会「いちげき」

所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館(郡山市中央図書館)

時 10:00、14:00 ￼ 無料(要整理券)

問 図書館(024)923-6616

※定員各回当日先着100名。各上映開始時間30分前に整理券配布。上映作品は、大政奉還直後の江戸を舞台に「百姓武士集団」の活躍を描いた「いちげき」(2023年、89分)。

12/21(日)

第23回仁井田地域づくり事業 無声映画上映会「すまいる座」

所 須賀川市文化センター 時 14:00

￼ (前売)一般・大学・高校生1,000円

(当日)一般・大学・高校生1,200円、中学生以下無料

問 仁井田コミュニティーセンター(0248)88-1005

※シンセサイザーとピアノの生演奏とともに、活弁士が場面に応じて解説やセリフを入れ込む無声映画の上映会。上映作品は、「ちびっ子ギャングDog Days」(1925年、アメリカ、12分)、「月世界旅行」(1902年、フランス、13分)、「一寸法師ちび助物語」(1935年、10分)、「チャップリンの冒険」(1917年、アメリカ、20分)、「少年野口英世」(1941年、35分)。

12/21(日)

田村市文化センター自主文化事業

まちそわシネマ Vol. 6「ぼくのお日さま」

所 田村市文化センター 時 14:00、17:30

￼ 一般・大学生500円、高校生以下300円、未就学児膝上鑑賞無料

問 文化センター(0247)82-5030

※上映作品は、吃音を持つホッケーが苦手な少年とフィギュアスケートを学ぶ少女、スケートのコーチの男の3人の視点で物語が描かれる「ぼくのお日さま」(2024年、90分)。第77回カンヌ国際映画祭正式出品作。バリアフリー日本語字幕付き上映。

展 示

開催中～12/14(日)

第12回 絵画同志会作品展

所 矢吹町ふるさと森芸術村

時 9:00～17:00(最終日は15:00まで)

休 月曜日 ￼ 無料 問 芸術村(0248)42-4506

※郡山市を中心に活動する同会会員5名による、「水彩」「透明

水彩」「ミクストメディア(複数の画法を組合わせて描画する等)」の作品約50点を展示。

開催中～12/14(日)

新収蔵資料展 まほろんのニューフェイスたち

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日、11/25 ￼ 無料 問 まほろん(0248)21-0700

※同館の収蔵資料の中から、近年収蔵された出土遺物を初公開。今後注目されるべき新たな資料にスポットをあて、県内各地の発掘調査成果を紹介。

開催中～12/21(日)

コレクターズ episode 2

所 柳津町・やないづ町立斎藤清美術館

時 9:00～16:30(最終入館16:00)

休 月曜日、11/25

￼ 一般510円、高校・大学生300円、中学生以下無料

問 美術館(0241)42-3630

※斎藤清を愛してやまない松島俊宏さんが長年かけて収集したコレクションの中から、同館未収蔵作品や関連資料99点を含む約200点を、同氏の解説コメントとともに展示。

開催中～12/21(日)

安積町の歴史

所 郡山市・蔭山工務店 大安場史跡パーク(大安場史跡公園)

時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日、11/25 ￼ 無料

問 大安場史跡公園(024)965-1088

※郡山市の南部に位置し、盆地底部の南端を占める安積町の発掘調査で出土した遺物128点を展示。

開催中～12/21(日)

半沢政人の創作展「紙と光のアート」

所 白河市・中山義秀記念文学館

時 10:00～18:00(最終入館17:30)

土日祝は17:00まで(最終入館16:30)

休 11/25、12/1、12/8、12/15

￼ 一般・大学・高校生220円、小・中学生110円

問 文学館(0248)46-3614

※三島町在住の美術家・半沢政人の、1枚の紙を用いて全くゴミを出さずに様々な形を生み出す創作方法「Ori Kiri Ori」(折り・切り・織り)によって制作された作品を展示。12月中の土曜日・日曜日午後1時からは、「Ori Kiri Ori」体験ワークショップも開催(別途参加料500円)。

開催中～1/12(月・祝)

協定締結10周年企画展「富岡町と福島大学のあゆみ～地域の歴史をつなぐ～」

所 富岡町・とみおかアーカイブ・ミュージアム

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 11/25、12/1、12/8、12/15、12/22、12/29～1/3、1/5

￼ 無料 問 ミュージアム(0240)25-8644

※2015(平成27)年に同町と福島大学が歴史・文化等保全活動に関する協定を締結してから10周年を迎えたことを記念し、これまでのあゆみや学生の声などのパネル展示のほか、実際の資料も展示する。

開催中～1/18(日)

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語

現代マイセンの磁器芸術

所 郡山市立美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12をのぞく)、11/25、12/28～1/5、1/13

￼ 一般1,200円、高校・大学生・65歳以上900円

中学生以下無料 問 美術館(024)956-2200

※戦後のドイツで「生きる喜び」の表現をモットーに、豊かな物語世界を装飾に表した絵付師、ハインツ・ヴェルナーの作品に着目し、現代マイセンの磁器芸術を紹介。12月20日(土)、1月11日(日)いずれも午後2時からは、同館学芸員によるギャラリートークもある。

開催中～1/18(日)

第9回 福島県障がい者芸術作品展

「きになる☆ひょうげん2025」

所 猪苗代町・はじまりの美術館

時 10:00～18:00(最終日は16:00まで)

休 火曜日、12/29～1/2 ￼ 無料 問 美術館(0242)62-3454

※「きになる」をひとつの基準に、県内から作品を募集した公募展。作者、家族、学校の先生、福祉施設の方など、誰かが「きになった」作品が一堂に会する。12月13日(土)午後7時から審査員4名によるトークイベント(オンライン開催)、12月20日(土)午後5時30分からはNPO法人BLUE代表理事・伊藤愛さんによるトークイベント(オンライン開催)などもある。

開催中～2/1(日)

“迎角”寅吉・和平の世界～造形的視点から見た二人の石工～

所 石川町立歴史民俗資料館 イシニクル

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12をのぞく)、11/25、12/28～1/5、1/13

￼ 一般・大学生200円、高校生以下100円

問 資料館(0247)26-3768

※県南地方で明治から昭和にかけて活躍した石工・小松寅吉と小林和平の「飛び狛犬」などの作品がなぜ人々を魅了するのか。作品に仕掛けられた造形的工夫を解き明かしていく。12月6日(土)、1月17日(土)いずれも午後1時30分からは、同館職員によるギャラリートーク、12月14日(日)午後1時30分からは、石川町共同福祉施設ホールで彫刻家・水野谷憲郎さんによる講演会を開催(聴講無料)。

開催中～2/16(月)

描かれた炭鉱(ヤマ)ー菊地正男絵画展ー

所 いわき市石炭・化石館「ほるる」

時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 12/16、1/1、1/20

￼ 一般660円、中学・高校・大学生440円、小学生330円

問 ほるる(0246)42-3155

※いわき市・古河好間炭礦で働いたのち、画家の道へ進んだ菊地氏の炭鉱絵画を中心に、絵画の中で描かれた採炭機器などの実物を展示し、在りし日の炭鉱(ヤマ)の仕事や生活を紹介する。12月21日(日)、1月12日(月・祝)、2月8日(日)各日とも午後2時からは、同館学芸員によるギャラリートークもある。

開催中～3/15(日)

野口英世15年ぶりの帰国～母との再会そして別れ～

所 猪苗代町・野口英世記念館

時 9:00～16:30(最終入館16:00) 休 12/29～1/3

￼ 一般・大学・高校生1,200円、小・中学生550円

12/1～3/15は一般・大学・高校生800円、小・中学生400円

問 記念館(0242)65-2319

※細菌学者・野口英世が1915(大正4)年に海外での研究から一時帰国し、母・シカと再会してから110年を迎えることを記念し、野口が遺した書や手紙、友人へ贈った時計の現物、滞在した2か月間の様子が分かるパネルなどを展示する。

開催中～2026 年秋

浪江町と復興まちづくり

所 双葉町・東日本大震災・原子力災害伝承館

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 火曜日(祝日の場合は翌平日)、12/29～1/3、2/25～2/27

￼ 一般・大学生600円、小・中学・高校生300円

問 伝承館(0240)23-4402

※地震、津波、原子力災害といった複合災害から浪江町が復興に向けてどのように歩んできたのかについて、実物資料や写真、動画、模型などで振り返る。



12/13(土)～3/22(日)

令和7年度 福島県歴史資料館収蔵資料展「新公開史料展」

国見町ゆかりの古文書を初公開

所 福島市・県歴史資料館 時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(1/12、2/23をのぞく)、12/28～1/4、1/13、2/24

※会期中に1週間程度の工事休館を予定。詳細は同館ホームページとX(旧Twitter)でお知らせ。

￼ 無料 問 資料館(024)534-9193

※『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第56集に収録され、新たに公開した文書群を展示する。伊達郡藤田村(現国見町)ゆかりの「二文字屋文書(その二)」および伊達郡小坂村(現国見町)ゆかりの「高原庄一家文書(その二)」を取り上げ、文書群の魅力と特徴的史料を紹介。12月20日(土)、2月22日(日)各日とも午後1時30分からは、同館学芸員による展示解説会もある。



〔酒注文〕覚(酒三升御造し被成下度)(二文字屋文書(その二)143)、藤田宿で主に酒類業を営んでいた二文字屋にあてられた注文書

福島県文化センターの公式



チャンネルでは、施設案内や

当館で開催された催しの様子などをご覧いただけます。アクセスはこちらから→



12/20(土)～1/18(日)

喜多方の染型紙「会津型」展ー雪国の四季とたのしむデザイン

雪国・喜多方の暮らしに育まれた文化財の魅力を多面的に紹介

所 喜多方市美術館 時 10:00～18:00(最終入場17:30まで) 休 水曜日、12/28～1/4

￼ 一般・大学生130円、小・中学・高校生50円、65歳以上75歳未満60円、未就学児・75歳以上無料

問 喜多方市教育委員会文化課 文化芸術振興班(0241)24-5323

※江戸時代後期から喜多方の一軒の型紙商によって販売・製造された、着物の柄を染める染型紙「会津型」。昭和初期まで産業としての歴史が続き、のちに37,000点を超える型紙と関係資料が発見され、2001(平成13)年に市の有形民俗文化財、その2年後には県の有形民俗文化財に指定された。本展では、県指定文化財の実物の型紙と関連資料を通して、四季折々の自然や動植物を描いた繊細で素朴な美しさ、そして時に可愛らしく、時にユーモラスな型紙の様々な表情を紹介する。

当館の最新情報や日常の様子を、公式



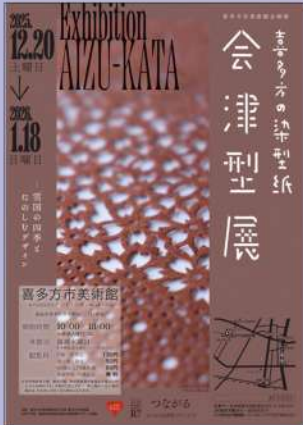
で発信しています。アクセスはこちらから→



Facebook



Instagram



11/29(土)～3/29(日)
発掘！磐城平城 冬の陣 近代磐城平の夜明け
所 いわき市考古資料館 時 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休 12/16、1/1、1/20、2/17、3/17
¥無料 問 資料館(0246)43-0391
※磐城平城廃城から明治時代に至る出土品を展示し、近代磐城平の歩みを紹介する。12月6日(土)、3月8日(日)いずれも午後2時から、同館学芸員による展示解説会もある。

12/4(木)～12/14(日)
郡山市文化財企画展
「令和の郡山を掘る－発掘調査成果展－」
所 郡山市歴史情報博物館
時 9:30～17:00(最終入館 16:30) 休 12/8 ¥無料
問 郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター
(024)959-3305
※令和元～6年度にかけて郡山市内で実施した発掘調査・試掘調査の内容を中心に紹介する。12月7日(日)・13日(土)いずれも午後1時30分からは、ギャラリートークもある。

12/5(金)～12/10(水)
第70回記念 福島県水彩展
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 10:00～16:00(最終日は15:00まで)
休 12/8 ¥無料 問 事務局(024)984-4905
※高校生以上の学生と一般からの公募作品、県水彩画会会員、会友の水彩・版画作品約90点を展示。

県外
11/29(土)～1/25(日) 境がい者割引
ブルーノ・ムナéri展 美術に出会う前の美術
所 山形県・米沢市上杉博物館
時 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(1/12をのぞく)、12/27～1/1、1/13
¥一般590円、高校・大学生190円、小・中学生無料
問 博物館(0238)26-8001
※日常の中にある形や色、デザインの面白さを、文字やオブジェ、花器や本などさまざまな形で発表したイタリアのアーティスト、ブルーノ・ムナériの作品や資料約300点を展示。

12/6(土)～1/25(日) 境がい者無料
大新潟映画展覧会
所 新潟県・新潟市歴史博物館みなとぴあ
時 9:30～17:00(観覧券販売は16:30まで)
休 月曜日(1/12をのぞく)、12/28～1/3、1/13
¥一般390円、高校・大学生260円、小・中学生130円
問 みなとぴあ(025)225-6111
※昭和中期の映画黄金時代に先駆け、1927(昭和2)年に新潟県で初めて映画の展覧会が開催されてから約100年を迎えるにあたって、新潟市を中心とした映画文化を、当時の映画ポスターや映写機などを展示し紹介。

講演・講座
12/7(日)
まほろん 第4回館長講演会
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
時 13:30 ¥無料

題 館長が半世紀前にあこがれた福大の卒業論文
—丹羽茂さんをお迎えして—
問 まほろん(0248)21-0700
※昭和30年代から40年代にかけて行われた県内の発掘調査の事例などについて、石川日出志同館館長と考古学研究に長年携わってきた丹羽茂さんが対談する。

12/7(日)
講演会「常磐炭田と地域社会」
所 いわき市石炭・化石館「ほるる」 時 13:30
¥観覧券として一般660円、中学・高校・大学生440円
小学生330円
講 熊澤幹夫(いわきヘリテージ・ツーリズム協議会)
問 ほるる(0246)42-3155
※定員当日先着20名。企画展「描かれた炭鉱(ヤマ)―菊地正男絵画展―」関連イベント。炭鉱と地域社会のかかわりについてさまざまなエピソードを紹介し、地域の歴史を学ぶ。

12/7(日)
美術講座(1)「マイセン窯とヨーロッパの名窯」
所 郡山市立美術館 時 14:00 ¥無料 講 同館学芸員
問 美術館(024)956-2200
※企画展「巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 現代マイセンの磁器芸術」関連イベント。

12/14(日)
いわき市考古資料館講座
所 いわき市考古資料館 時 10:00 ¥無料(要申込)
講 同館学芸員 問 資料館(0246)43-0391
※定員先着20名(要申込)。いわき市内の遺跡で出土した遺物を解説し、考古学や文化財への関心、理解を深める講座。同館ボランティアの活動も紹介する。資料館窓口、電話、FAX(0246-43-0395)、E-mail(info@iwaki-koukoshiryokan.jp)にて申込受付。

12/14(日)
郡山市開成館講演会
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 13:30 ¥無料(要申込)
講 坂本菜月(那須塩原市那須野が原博物館主任(学芸員))
題 安積疏水と那須野が原開拓
問 郡山市開成館(024)923-2157
※定員100名(要申込)。11月30日(日)午後4時30分まで、開成館電話、受付窓口、申込フォームにて申込受付。申込者多数の場合は抽選。申込者以外の同伴者、未就学児入場不可。

その他
12/13(土)・14(日)
じょーもぴあ宮畑 ナイトミュージアム
～光と星そして暗闇の世界～
所 福島市・じょーもぴあ宮畑
時 16:00～19:00(最終入館 18:30)
室内ドームプラネタリウムは16:30、17:00、17:30
¥イベントによって異なる
問 じょーもぴあ宮畑(024)573-0015
※暗闇の展示室を探検するナイトミュージアム「暗闇の世界」や、室内ドームプラネタリウム「縄文時代の星空」(定員各回30名、要申込)など、各種イベントを開催。

財団トピックス
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)
文化会館 再開館の予定について

令和6年7月から、地震により被災した大ホール客席天井の復旧・改修や、老朽化が進む空調設備の改修工事のため休館しております「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館」については、令和8年9月1日(火)より再開館を予定しております。ご利用のご相談やご不明な点は、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所までご相談ください。

- 再開館予定日
令和8年9月1日(火)
- 施設利用申請受付開始予定日
・大ホール
令和8年2月18日(水)
・大ホール以外の施設
令和8年1月15日(木)



〈再開館の詳細については
こちらをご覧ください〉



※施設利用申請受付開始にあたっては、受付会場や受付開始時間等の詳細が決定次第、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)のホームページに掲載いたします。

※再開館及び施設利用申請受付開始時期は、現時点での予定です。工事は令和8年6月30日までの工期で実施しております。工事の進捗等により変更(遅延)がある場合は、速やかにお知らせします。

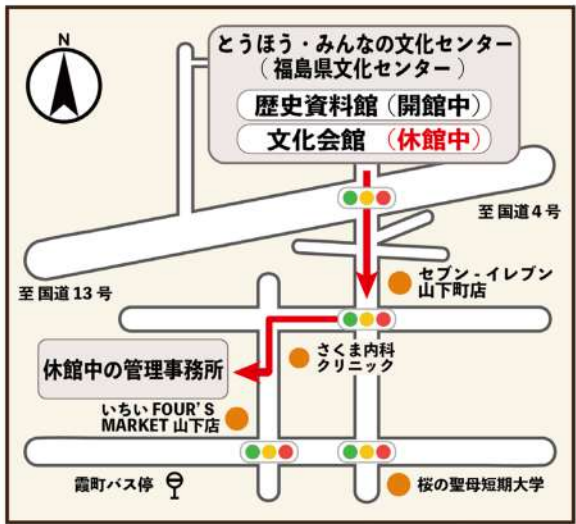
【利用に関する問合せ先】

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所

- ・場所 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25
- ・電話 (024)534-9191(文化推進課)
- ・営業時間 月曜～金曜日 9:00～17:00
- <定休日>土曜・日曜・祝日と年末年始(12/28～1/4)

【改修工事に関する問合せ先】

福島県文化スポーツ局文化振興課(024)521-7179



〈自家用車の場合〉

〈公共交通機関の場合〉

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所で販売中のチケット ※11月10日現在の情報です。

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
立花和夫記念第12回演奏会 ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	11月29日(土)14:00	3,000円	事務局(090)9036-2695
「田中彩子 ソプラノ・リサイタル 2026 in 郡山」Presented by WOWOWプラス	けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター)	4月18日(土)14:00	《全席指定》 一般6,000円	福島中央テレビ事業部 (024)924-1100



スポットライト

— 今、注目のイベント情報

音屋ホール Presents CHILDHOOD Christmas Concert

相馬市における文化の発信拠点 個性ある催しで地域を盛り上げる

#14 音屋ホール マネージャー 藤本 弘幸さん、音響 佐藤 将平さん

相馬市の音屋ホールは、スタンディングで1,000人、座席で300人収容の、本格的な音響設備のある多目的ホールと音楽スタジオを備えた民間ホール。建設会社社長の青田由広さんが設立し、音楽イベントを中心に自主企画を開催するほか、市民の練習・発表の場として親しまれている。

開館のきっかけは、青田さんと俳優で映画監督の故・塩屋俊さんとの出会いだった。映画の撮影や作品上映で相馬市を訪れていた塩屋さんが生前、「東日本大震災で傷ついた相馬に人が集まる場所を」とライブハウスづくりを目指していた遺志を青田さんが引き継ぎ、2016(平成28)年5月にオープンした。

開館以来、ロックやフォーク、クラシック、民謡、民族音楽など多彩なジャンルのライブイベントを企画。企画制作に携わる藤本弘幸さんと佐藤将平さんは、地元ゆかりのアーティストの招へいや、他では体験できない独自の内容を心掛けているという。

12月の「CHILDHOOD Christmas Concert」は、同ホールでは6年ぶりの開催



本公演の魅力を伝える藤本さん(左)と佐藤さん(右)

になる。CHILDHOODは、東京音楽大学出身のハンドフルート奏者・森光弘さんとピアニスト・臼田圭介さんのデュオで、臼田さんの妻が相馬市出身であることが縁につながった。今回は、若い世代も鑑賞しやすいよう学生料金を設定。佐藤さんは、「森さんはハンドフルート奏法の創始者。生演奏が聴ける貴重な機会」と、来場を呼びかけている。

ホールでは近年、高校生のインターンシップを受け入れるなど、若い世代とのつながりも増えているという。藤本さんと佐藤さんは、今後も相馬市の文化の発信拠点として、地域を盛り上げたいと意気込む。



音屋ホール外観

音屋ホール Presents
CHILDHOOD Christmas Concert

日 時：12月13日(土)18:00
会 場：相馬市・音屋ホール
料 金：(前売)一般 3,500円、大学生以下 2,000円
(当日)一般 4,000円、大学生以下 2,000円
※ドリンク代込み
問合せ：音屋ホール(0244)32-1717



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所

TEL(024)534-9191

FAX(024)536-1926